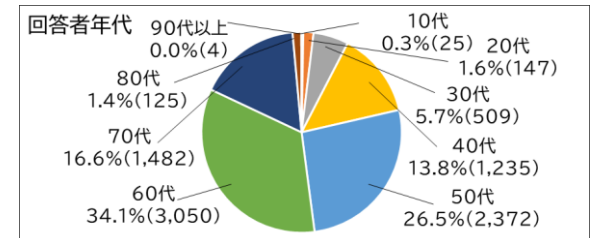
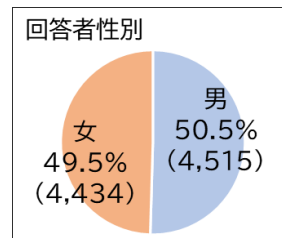


令和7年度「デジタル・トランスフォーメーション(DX)の推進に関するアンケート」結果【概要版】

【調査期間】 令和7年12月11日(木)から令和8年1月4日(日)まで
 【調査方法】 みやぎ県民公式アプリ「ポケットサイン」(アンケートミニアプリ)による回答
 【調査対象】 宮城県内に居住する18歳以上の方
 【回答者数】 8,949人(閲覧者数:11,120人/回答率:80.5%)



問1 普段の生活や仕事・地域活動、行政サービスにおいて、DX (デジタル技術を活用した変革)が進んでいると感じますか。

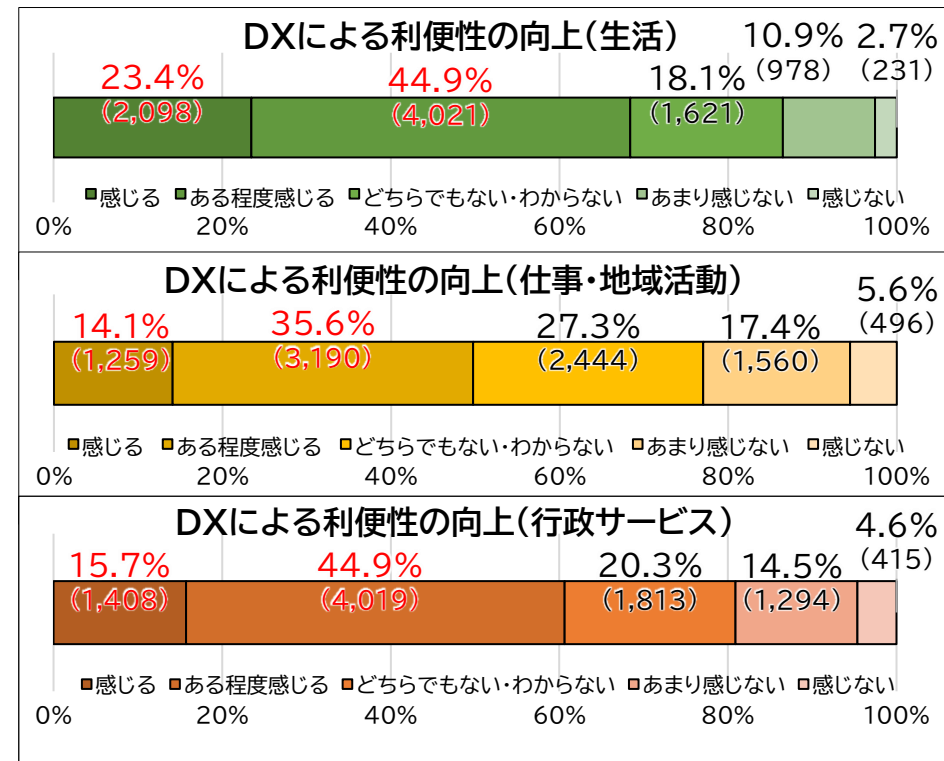
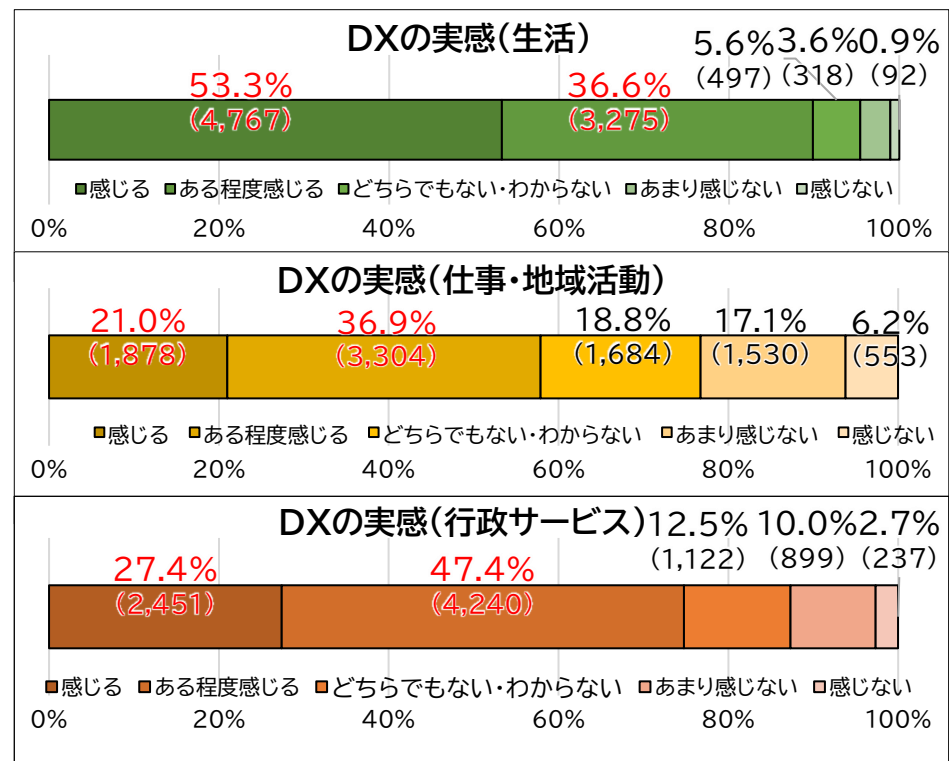
問2 DXにより、普段の生活や仕事・地域活動、行政サービスが便利になったと感じますか。

【結果概要】

【結果概要】

DXの進展について、**すべての項目で実感層が非実感層を上回っている。**
 ・最もDXを実感している分野:「生活」 89.9%
 ・最もDXを実感していない分野:「仕事・地域活動」 23.3%

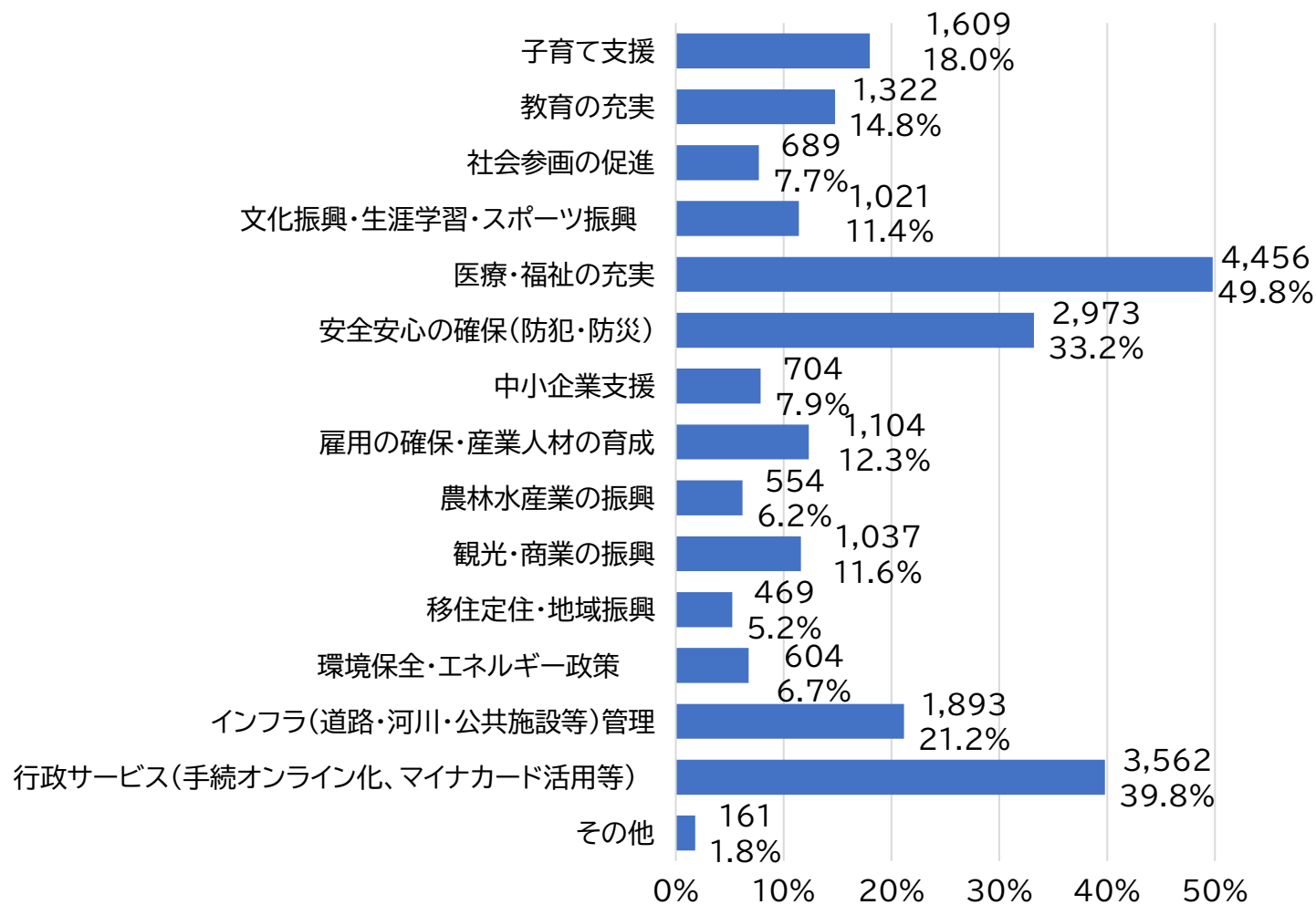
DXの進展について、**すべての項目で実感層が非実感層を上回っている。**
 ・最も利便性向上を実感している分野:「生活」 68.3%
 ・最も利便性向上を実感していない分野:「仕事・地域活動」 23.0%



令和7年度「デジタル・トランスフォーメーション(DX)の推進に関するアンケート」結果【概要版】

問3 今後、宮城県がDXを推進するべき分野について、あなたが特に重要だと考えるものはどれですか。

今後宮城県がDXを推進するべき分野で特に重要なもの



【結果概要】

今後DXを推進すべき重要な分野として、多い順で以下のとおり回答があった。

1. 医療・福祉の充実 49.8%
2. 行政サービス 39.8%
3. 安全安心の確保(防犯・防災) 33.2%

【その他の主な回答内容】

・情報格差・高齢者支援
デジタル化により高齢者等が取り残されることへの懸念が多く、対面支援や分かりやすい学習機会の確保を求める意見があった。

・行政・地域の効率化
行政手続や広報等について、オンライン化による利便性向上と、紙や移動に伴う負担軽減を求める意見があった。

・生活支援・公平性・経済対策
公平な課税や支援、世代や属性に偏らない施策を求める意見があった。

・用語の難しさ・実感の不足
DXの意味や効果が分かりにくく、施策の効果や支援内容をより明確に伝えるべきとの意見があった。

など